SAIJO LIONS CLUB

クラブ結成 55 周年記念事業講演会

ご協力いただいた西条小学校コーラス部･ボーイスカウト第11団の皆さんと

ありがとう

2015 - 2016

No.468

ライオンズクラブ国際協会 336－A地区２R－４Z

西条ライオンズクラブ会報誌 6 月号

SAIJO LIONS CLUB

2015-2016 年度　ライオンズクラブ国際協会会長　　山　田　實　紘

テーマ　「Dignity•Harmony•Humanity（命の尊厳と和）

2015-2016 年度ライオンズクラブ国際協会 336-A 地区ガバナー　　橋　本　充　好

スローガン　「感謝」「感動」「感激」の気持ち、 心で We Serve　　キーワード　「入魂」

2015-2016 年度　２Ｒ４Ｚ　西条ライオンズクラブ会長　　高　橋　　学

スローガン　「繋げよう明日へ「ありがとう」の心　WE SERVE」　キーワード　「未来」

早 朝 清 掃 奉 仕 活 動 報 告

環境保全保健福祉委員
塩崎己年夫

５月１０日（火）２０数年続く恒例の朝５時５０分集合、早朝清掃奉仕活動を実施致しました。昨日の雨と天気予報では一日中雨と新聞、テレビで予報されていましたが会員の普段のＷｅ Ｓｅｒｖｅの精神が石鎚大神に通じたのでしょう。清掃奉仕活動時間中は雨に降られることなく、例会終了後雨が降りだした状況でした。
ほぼメンバー全員で清く済んだ日本一おいしい水うちぬきの冷気の空気を胸いっぱい吸って気持ちよく、明るく、笑顔で幹線道路、公共施設等周辺のゴミを拾いすっかり見違えるようにきれいに清掃が出来ました。
今期２回目の清掃奉仕は、市内３コースに分け、A コースは村上記念病院前から西条図書館までの両側歩道、B コースは JR 西条ロータリーと南側公園、C コースは西条商工会館（歩道橋～駅前通りとの交差点までの両側歩道）に別れ、早朝で短い時間での制限の中、メンバー全員が積極的に一生懸命清掃活動を行なったことは必ず地域社会に又、市民の方々に美しい街づくりのお役にたてことだと確信しております。清掃奉仕活動終了後、西条商工会館前で記念撮影し，清々しい気持ちと少し世のためにお役にたった気持ちで例会に出席し、晴れ晴れとした満足感で早朝清掃奉仕ができました事メンバーの皆様、ご苦労様でした。お疲れ様でした。担当の環境保全・保健福祉委員長ならびに委員より心からご協力に感謝します。
ありがとうございました。

結成55周年記念事業『　糸・・・そして共に生きる　』

～がれきに咲いたナデシコ　全国へ～

記念市民講座委員長　清水　泰雅

２０１６年５月１５日（日）、西条ライオンズクラブ結成５５周年記念の最後の事業である講演会を、西条市総合文化会館小ホールにて行いました。

当日は、曇りがちの天気でしたが、さわやかな風が吹き渡るよい１日でした。

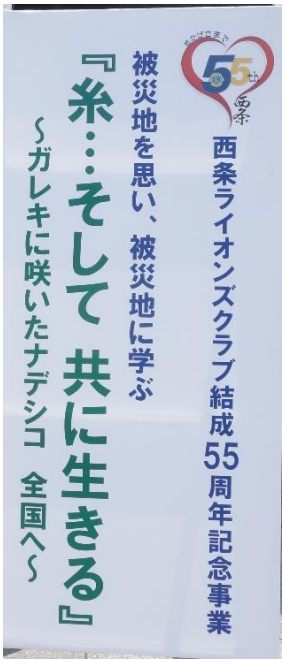
講師の遠藤水華里先生は、宮城県の南三陸町在住で、ピアノ教室を開いていて、来西は４回目です。東日本大震災から５年が過ぎましたが、語り部として被災者の心や想いを代弁し、また、被災地の今を多くの人たちに伝える活動をしています。

講演会では、震災発生時の状況や女性ならではの繊細な心の動きや、実際に被災を経験しなければわからないような様子を感情豊かに語っていただきました。
また、３曲の歌を心を籠めて歌っていただきました。

その中でも、「糸」という歌には、細い糸を束ねたような、ナデシコの花を通じて、東日本大震災だけでなく、先日の熊本の震災や広島の豪雨被害などの被災者の気持ちや、それを支えるライオンズクラブを代表する全国のボランティアのみなさんをつなげていきましょうという思いを感じました。四国の西条にとって東北の被災地は遠すぎて、また、マスコミで取り上げられる機会も少なくなってきたようで、なかなか実感がわかない部分がありますが、貴重な遠藤先生の講演を聞いてみると、西条に震災は来ないとはとても言いきれません。（もしかして次は、このあたりかもしれません。）
忙しい日々の中で、なかなか地震への備えはできていませんが、この講演会をきっかけに防災への意識と心構えと覚悟を高めることができました。

講演会の最後には、特別出演の西条小学校のコーラス部の子供たちと一緒に震災復興応援ソングの「花は咲く」を歌いました。この季節にぴったりのさわやかで清々しい歌声でした。去年の 11 月にご挨拶に伺った、新居浜の 39 回（さんきゅうかい）の鈴木さんに分けて頂いた、ナデシコの１株は、葉はたくさん茂ってきたのですが、花は今年は咲きませんでした。残念。株が小さすぎたのか、世話に至らないことがあったのかわかりません。来年は、しっかり世話をして花を見たいと思います。

今回の講演会でも、たくさんの方々に本当にお世話になりました。特に結成５５周年記念事業大会委員長の花山Ｌには、頼りない自分を引っ張って指導していただき、本当に感謝しています。ボランティア団体として活動の仕方と心配りを学ぶことができ、非常に良い経験をしました。また、司会を快く引き受けて頂いた、今岡佐津紀さん、実行委員長の原Ｌや事務局の益田さん、伊藤稔幹事、明比昭治Ｌ、総合文化会館の日野さん、当日の朝早くからお手伝いいただいたみなさんにも紙面をお借りして改めて御礼申し上げます。今後ともご指導とご鞭撻をよろしくお願いします。



講演会　アルバム

西条小学校コーラス部の
皆さんのやさしい歌声が
会場に響きわたりました

花は 花は 花は咲く
いつか生まれる君に
花は 花は 花は咲く
いつか恋する君のために

ボーイスカウト西条第11団員の皆さんには
平成28年熊本地震募金活動にご協力いただきました

目録

一、東日本大震災被災者
支援活動費
金　参拾萬圓也

右、東日本大震災被災地への復興
支援金として贈呈いたします

平成二十八年五月十五日

遠藤水華里殿

西条ライオンズクラブ
会長　高橋　学

クラブメンバー総出の周年記念事業
となりましたね

震災津波 進まぬ復興

宮城・南三陸町の語り部

西条で講演 現状訴える

東日本大震災の被災地の現状を語る遠藤さん

東日本大震災の語り部として全国で講演する宮城県南三陸町のピアノ講師、遠藤水華里（ゆかり）さんが15日、西条市神拝の市総合文化会館で被災地の現状などを話し、市民ら約200人が耳を傾けた。

南三陸町でピアノ教室を開いていた遠藤さんは「目の前で親戚などが津波で沖に流されるのを見たが、助けてあげられなかった」と述懐。町には今もスーパーはなく、生活困窮者も多いとし「復旧・復興は思うようなスピードでは進んではいない」と訴えた。

熊本地震では、生活がどうなるかわからない町民がお金を集めて寄付をしたとし「助けてもらったという思いを誰かにつなげていきたい」と語った。

講座は西条ライオンズクラブ（高橋学会長）の結成55周年記念事業として開催。南三陸町の特産品販売などもあった。（竹下世成）

2016年5月16日愛媛新聞記事掲載

記念講演会を終え少し経った頃
講師　遠藤水華里さんからお手紙が届きました・・・

お世話になりました。今回もまた、たくさんの御配慮をありがとうございます m(__)m
昨年、お話をいただいた時から、私のようなものが、記念の行事に参加していいのだろうか？と迷う気持ちがありました。
それでも皆様にまた、お会いしたい気持ちが勝ってしまい、お引き受けしました。それからは健康管理に気をつけて、どんな内容にするか考え続けました。被災当時の事を思い出す作業は、そのまま、また被災する事に他なりませんが、それでも私には必要な作業だと努力し、呼んでくださるライオンズクラブの皆様が恥ずかしくない内容にしようと頑張りました。
ところが３月あたりから、メディアの取材やら訪問者が増え、４月末までに数えきれないほどの方をお迎えし、疲れが出たのか５月の連休は寝たきりになり、南三陸では愛媛行きが危惧されておりました。御迷惑をお掛けしてはいけないと、苦手な点滴をし、ひたすら静養につとめて無事に愛媛行きが果たされました。

とにかく最後までやり通して、その後はどうなってもいいかなと言う祈るような気持ちで、行ったのですが、皆様の顔を見たら、絶好調になってしまいました(*^^*)
元気をくださってありがとうございました m(__)m
更に今回も私のワガママを許してくださり、ありがとうございます。
お陰さまで新居浜市と四国中央市の学校にも行く事ができました。
次世代に繋げたいと言う思いが叶って有り難かったです。どこに行っても、皆様に良くしていただき、ただただ感謝で一杯です。
また今回は、クラブの皆様とも、ゆっくり話す機会もあり、交流が深まったような気がして嬉しく感じてます。しかも揃いのクラブジャンパーもいただき、大感激です。どの場面で着るか、ウキウキ考えてます。
舞台の上から、誰がどこにいるかは見えません。でも会場のあちこちに皆様が見えたのです。
星をちりばめたように綺麗なジャンパーの色が私を励ますかのように浮かんで見えました。
そこに向かって語りかけ、そこに向かって歌いました。
南三陸から松山空港まで、五時間ですが、心の距離は数秒です。
西条ライオンズクラブの南三陸支部として、これからも生徒達と精進します。
こんなヘロヘロな師匠を持った生徒達が気の毒ですが、みんな心配して待っていました。
生徒からの伝言です。

「ゆかり先生が、お世話になりました。帰って来ないかもしれないと思ったりしたので、帰って来て良かったです。先生は行く前より元気になって帰って来ました。ありがとうございます。６月のコンクールも頑張ります。」
生徒にまで心配されてしまう自分を情けないと思いますが、ありのままにしか生きられないので、心の中で頭を下げてます。
私が帰って来て、どんな気持ち？と聞いたら写真のようなポーズをしました。
残りの人生を、この子供達と、お年寄りの為に使うのも悪くないかなと思い始めました。
憎んだり妬んだりするより、愛して慈しんで生きる方が楽だと知りました。
この私の五年間を見守ってくださり、ありがとうございます。
自分でも、どのように再生していくのかわかりませんが、これからもよろしくお願いします。
今回もまた、細く長い糸を沢山感じました。もはやそれはロープになったようです。
私の願いは叶えられ守られている事を実感しました。ひたすら感謝します。
私と友達になる条件を覚えているでしょうか？
「病気をしない、怪我をしない、私より先に死なない」
これを守って、いつまでも楽しく幸せでいて欲しいと強く願います。
君と生きる、共に生きる、遠く離れていても、クラブの皆様と共に生きると決めました。
ご尽力くださったクラブの皆様に感謝します。
泣かずに話したり、歌ったり出来なかった事を反省しています。
愛情欠乏症の私に、愛媛の人たちは、アップアップするくらいくださいました。
私は今、とっても元気です。たくさんたくさん、ありがとうございました m(__)m
≪追伸≫
フェイスブック「ヒサのナデシコ」プロジェクトのページに今回の事をアップさせていただきました。ご覧になっていただければ、嬉しいです。

会員委員会１年間を振り返って　　委員長　村上公明

第５５代 高橋会長の下、会員委員長を仰せつかりましたが、早くも６月を迎え、１年もあっという間に終わろうとしています。光陰矢の如し、歳月人を待たずと言いますが、時間の経つのは早いものです。昭和６３年（1988 年）９月、藤田公道さん、伊藤洋八郎さんと３人で入会して２９年、当時の会員委員会の方々は立派な方が多く、呼びつけられてはびくびく、ぴりぴりしておりました。
時は流れて今年は自分が会員委員長、何をしてきたのかなぁと反省しきり。
本年は新会員が１１名（うち家族会員１０名）入会、退会２名（うち１名は不在会員）、５月には不在会員から正会員への復帰１名の異動がありました。
ライオンズクラブは、会員が宝です。来年も若い方を中心に是非新会員が多く入会されんことをお祈り致します。

出席・計画委員会１年間を振り返って　　委員長　曽我部克正

今年度、出席計画委員会の委員長を受け「例会出席率１００％」を一度でもいいから達成したかったのですが、できませんでした。悔いが残ります。
夏の家族例会ではたくさんのメンバーに参加いただき、レオマワールドで遊んだり、泳いだりと大変思い出に残る家族会になったと思います。
今年は、台湾からの YCE 派遣生　劉さんのスケジュールの関係でレオマワールドでの滞在時間に制限があり、参加された子どもさんには多少物足りなさもあったかもしれません。
年末の忘年例会は、通年利用していた会場を変更し、周年大会でお世話になったレストラン sogabe で開催しました。５５周年の記念式典直後の開催ということで、少し規模を縮小して行いました。ちょうど第 1300 回記念例会と重なったおかげで、メンバーと奥様方みんなで喜び、アットホームな雰囲気の中祝えたことが記憶に残ります。しかしながら、設備や広さに問題がありご迷惑をおかけしましたことは、反省する点でもあります。
次年度の、出席計画委員会の委員長ならびにメンバーのみなさんに期待いたします。
至らなかった点、数多くございましたが委員会メンバーをはじめ皆さまに感謝しています。
ありがとうございました。

青少年指導委員会１年間を振り返って　　委員長　清水泰雅

～ワクワクドキドキの１年間～

委員会のみなさんを筆頭に、執行部の方々、先輩方、事務局の益田さん、ご指導とご協力を本当にありがとうございました。多分、言いたいこともかなり我慢して、忍耐強く、頼りない僕を支えて頂いたと思っています。

平和ポスターでは、自分なりにがんばった割に応募が少かったり、野球大会のカレー作りでは、天気に振り回されたり、産業文化フェスティバルのバザーでは、本当に全部売れるのか心配したり、５５周年記念の講演会では、準備の大事な時に体調不良でご心配とご迷惑をおかけしたりと、ハラハラドキドキの１年で、立派にやり切ったという気持ちは全くありません。

ただ、ライオンズクラブに関してまた少し理解を深められたということと、青少年指導委員会は、子供達の未来につなげていく事業が多いので、将来、代表的なボランティア団体として、なにかとてもおもしろい活動ができそうな予感がします。より気持ちを高めて、発想を練りたいと思います。そういう意味では、ワクワクドキドキしています。今後とも、よろしくお願い申し上げます。

報告　原　育雄

去る５月２９日生憎の天候の中、平成２７年度スポーツ同好会総会終了後、恒例のバーベキュー祭りを開催しました。当日は会員１５名・ＬＬ他７名・子供１１名の総勢３３名・プラス犬２匹？参加の賑やかな大会となりました。

今年も「五味鳥」のザンキ、「居酒屋耕ちゃん」の刺身の舟盛を初めとした魚貝類、そして「焼肉泰山」の炭火焼き肉、名物ビルさんの鯛めし、ついでに何故か「鉄板ナポリタン」等、数々の食材に囲まれての賑やかな祝宴となりました。また子供も大人も、うなぎの掴み取りやソーメン流しを堪能して無事終えることとなりました。皆様お疲れ様でした。

来年も今年以上の沢山のご参加をお待ちしております。

ＰＳ：当日は、越智Ｌからの清酒、花山Ｌからビールの差し入れを頂き有難うございました。
来年もよろしくお願いいたします。

編 集 後 記

うっとおしい梅雨の季節に入りました。長期予報に依りますと、今年も猛暑が続き、大雨の可能性も大とのことです。ちなみに1m 四方に1時間１００㎜降ると、その重さは１００㎏になるといわれています。
どうか、想定外を越える様な被害の無きことを祈るばかりです。

さて、会報誌の編集もあと僅かとなりました。
今期の目標である会員全員の投稿も達成出来まして、スタッフ一同自賛しているところです。
やはり会報誌は、そのクラブの顔ですので、メンバー全員から何かしらの話題を提供していただくことが、やもすれば「マンネリ化」になりがちな最大の予防策だと思います。
ともあれ、皆様方のご協力に感謝申し上げる次第です。

PR･広報委員　　越智英明

発行者　会　長　高橋　学
幹　事　伊藤　稔
ＰＲ・広報委員長　小野雅志
編集委員　盛實正人・越智英明・高橋雅顕・合田直司
日野克則・伊藤隆治・野間賢次郎
例会日　毎月　第２・第４火曜日（12：30～13：30）
例会場　西条商工会館
発　行　西条ライオンズクラブ事務局
印　刷　プリントワールド ONO

西条ライオンズクラブ
〒793－0027　愛媛県西条市朔日市７７９－８
西条商工会館３Ｆ
TEL(0897)56－3980
FAX(0897)56－9251
E－mail　saijo-lc@abeam.ocn.ne.jp
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://saijo-lions.jp
facebook　http://facebook.com/saijo.lions/